

令和8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

学 校 史

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 次の英文は、国連 Convention on the Rights of the Child（以下、CRC と略記）、第28条を抜粋したものである。これを読んで、以下の1～6に解答しなさい。

（出典： <https://www.unicef.org/child-rights-convention/convention-text>）

(出典 : <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jido/zenbun.html>)

- 1 CRC が国連総会で採択された年と日本が批准した年の組合せとして適切なものを次のア～オから一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 採択 1969 年－批准 1970 年	イ 採択 1969 年－批准 1974 年
ウ 採択 1989 年－批准 1990 年	エ 採択 1989 年－批准 1994 年
オ 採択 2009 年－批准 2010 年	

- 2 CRC が規定する子どもの諸権利の具体的内容、及び CRC の歴史的、社会的、国際的背景等について知るところを述べなさい。

- 3 第 1 項の空欄①に入る最も適切な語を次のカ～コから一つ選び、その記号を答えなさい。

カ by キ of ク in ケ to コ as

- 4 第 1 項(a)において、下線部② compulsory と述べられている点について、日本国憲法及び国際人権規約等を踏まえて論評しなさい。

- 5 第 1 項(c)において、下線部③ on the basis of capacity と述べられているが、CRC の他の条項（第 2 条「差別の禁止」、第 3 条「子どもの最善の利益」等）との関係からみて、どのように解釈できるか、論じなさい。

- 6 第 2 項の下線部④ school discipline に関して、適切ではないと判断されるものにはどのようなものが考えられるか。また、その解決に向けてどういった取り組みがなされているか、述べなさい。

問題2 次の＜史料＞を読んで、以下の1～3の問いに解答しなさい。なお掲載にあたり、第9条から第11条は省略した。

＜史料＞

- 1 この法令の名称を答えなさい。なお、慣用的に用いられる表現で良い。
- 2 1のように判断した根拠を述べなさい。
- 3 この法令の特徴がわかるように、小学校の種類と修業年限の変遷について述べなさい。

問題3 次の語句・人名の中から2つを選び、簡潔に説明しなさい。選択した番号を明記のこと。

- 1 手習塾
- 2 大正新教育（大正自由教育）
- 3 教育委員会法
- 4 伊澤修二
- 5 ペスタロッチ

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育思想

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 次の英文は、国連 Convention on the Rights of the Child（以下、CRC と略記）、第 28 条を抜粋したものである。これを読んで、以下の 1～6 に解答しなさい。

（出典：<https://www.unicef.org/child-rights-convention/convention-text>）

(出典 : <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jido/zenbun.html>)

- 1 CRC が国連総会で採択された年と日本が批准した年の組合せとして適切なものを次のア～オから一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 採択 1969 年－批准 1970 年	イ 採択 1969 年－批准 1974 年
ウ 採択 1989 年－批准 1990 年	エ 採択 1989 年－批准 1994 年
オ 採択 2009 年－批准 2010 年	

- 2 CRC が規定する子どもの諸権利の具体的内容、及び CRC の歴史的、社会的、国際的背景等について知るところを述べなさい。

- 3 第 1 項の空欄①に入る最も適切な語を次のカ～コから一つ選び、その記号を答えなさい。

カ by キ of ク in ケ to コ as

- 4 第 1 項(a)において、下線部② compulsory と述べられている点について、日本国憲法及び国際人権規約等を踏まえて論評しなさい。

- 5 第 1 項(c)において、下線部③ on the basis of capacity と述べられているが、CRC の他の条項（第 2 条「差別の禁止」、第 3 条「子どもの最善の利益」等）との関係からみて、どのように解釈できるか、論じなさい。

- 6 第 2 項の下線部④ school discipline に関して、適切ではないと判断されるものにはどのようなものが考えられるか。また、その解決に向けてどういった取り組みがなされているか、述べなさい。

問題2 西洋近代における家族観の歴史的特徴について論じなさい。

問題3 次の①～⑤にあげた人物について、1及び2の問いに答えなさい。

- ① コンドルセ (Marie Jean Antoine Nicolas de Caritat, marquis de Condorcet)
- ② ルペルティエ (Louis-Michel Lepeletier de Saint-Fargeau)
- ③ ルソー (Jean-Jacques Rousseau)
- ④ ペスタロッチ (Johann Heinrich Pestalozzi)
- ⑤ ヘルバルト (Johann Friedrich Herbart)

1 ①～⑤の人物の生没年として適切な組合せを、次のA～Eから一つずつ選び、その記号を答えなさい。

- A 1712年生－1778年没
- B 1743年生－1794年没
- C 1746年生－1827年没
- D 1760年生－1793年没
- E 1776年生－1841年没

2 ①～⑤の人物の教育思想の特徴について説明しなさい。

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育行政学

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 次の英文は、国連 Convention on the Rights of the Child（以下、CRC と略記）、第 28 条を抜粋したものである。これを読んで、以下の（1）～（6）に解答しなさい。

（出典： <https://www.unicef.org/child-rights-convention/convention-text>）

(出典 : <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jido/zenbun.html>)

(1) CRC が国連総会で採択された年と日本が批准した年の組合せとして適切なものを次のア～オから一つ選び、その記号を答えなさい。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ア 採択 1969 年－批准 1970 年 | イ 採択 1969 年－批准 1974 年 |
| ウ 採択 1989 年－批准 1990 年 | エ 採択 1989 年－批准 1994 年 |
| オ 採択 2009 年－批准 2010 年 | |

(2) CRC が規定する子どもの諸権利の具体的内容、及び CRC の歴史的、社会的、国際的背景等について知るところを述べなさい。

(3) 第 1 項の空欄①に入る最も適切な語を次のカ～コから一つ選び、その記号を答えなさい。

カ by キ of ク in ケ to コ as

(4) 第1項(a)において、下線部② compulsory と述べられている点について、日本国憲法及び国際人権規約等を踏まえて論評しなさい。

(5) 第1項(c)において、下線部③ on the basis of capacity と述べられているが、CRCの他の条項(第2条「差別の禁止」、第3条「子どもの最善の利益」等)との関係からみて、どのように解釈できるか、論じなさい。

(6) 第2項の下線部④ school discipline に関して、適切ではないと判断されるものにはどのようなものが考えられるか。また、その解決に向けてどういった取り組みがなされているか、述べなさい。

問題2 教育基本法第4条第1項における「ひとしく、その能力に応じた教育」についてその解釈を説明し、そうした教育が受けられるようにするために日本ではどのような制度・政策が取られてきたか、またそれに関わっていかなる課題や論点があるかを述べなさい。

【参考】教育基本法(2006年改正)第4条第1項

「すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない。人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。」

問題3 日本の教育制度・行政に関わる以下の5つの用語のうち、2つを選んでその意味や仕組みと課題・論点などについて説明しなさい。(選択した問題番号を明記のこと)

1. 就学猶予
2. 学校評価
3. 学習指導要領の最低基準性
4. 教職調整額(公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法)
5. 教育委員任命制

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育史

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 次の英文は、国連 Convention on the Rights of the Child（以下、CRC と略記）、第 28 条を抜粋したものである。これを読んで、以下の 1～6 に解答しなさい。

（出典： <https://www.unicef.org/child-rights-convention/convention-text>）

(出典 : <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jido/zenbun.html>)

- 1 CRC が国連総会で採択された年と日本が批准した年の組合せとして適切なものを次のア～オから一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 採択 1969 年－批准 1970 年	イ 採択 1969 年－批准 1974 年
ウ 採択 1989 年－批准 1990 年	エ 採択 1989 年－批准 1994 年
オ 採択 2009 年－批准 2010 年	

- 2 CRC が規定する子どもの諸権利の具体的内容、及び CRC の歴史的、社会的、国際的背景等について知るところを述べなさい。

- 3 第 1 項の空欄①に入る最も適切な語を次のカ～コから一つ選び、その記号を答えなさい。

カ by キ of ク in ケ to コ as

- 4 第 1 項(a)において、下線部② compulsory と述べられている点について、日本国憲法及び国際人権規約等を踏まえて論評しなさい。

- 5 第 1 項(c)において、下線部③ on the basis of capacity と述べられているが、CRC の他の条項（第 2 条「差別の禁止」、第 3 条「子どもの最善の利益」等）との関係からみて、どのように解釈できるか、論じなさい。

- 6 第 2 項の下線部④ school discipline に関して、適切ではないと判断されるものにはどのようなものが考えられるか。また、その解決に向けてどういった取り組みがなされているか、述べなさい。

問題2 次の文章は、学校経験をめぐる回想の一節である。これを読み、設問1～3に解答しなさい。

1 傍線部①沢柳政太郎について、以下の項目のうち不適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア ヘルバルト学派の著作を翻訳
- イ 文部官僚として尋常小学校の授業料を無償化
- ウ 文部官僚として初等学校の教科書を国定化
- エ 帝国大学総長として初めて女性の帝国大学入学を認可
- オ 帝国大学総長として教授会の人事権を強化
- カ 私立学校創設者として教育における能率を重視

2 傍線部②「朕惟フニ」をきくとは、どのような教育実践を意味するか。当時の教育制度をふまえて説明しなさい。

3 傍線部③「裂け目」について、その個人史的な意味を押さえたうえで、成城小学校の実践が日本教育史上どのような意味を有するか論述しなさい。

(出典：鶴見和子『生活記録運動のなかで』未来社、1963年、254-255頁)

問題3 次の事項の中から2つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した番号を明記すること。

- 1 『和俗童子訓』
- 2 『新女大学』
- 3 言文一致運動
- 4 ラジオ体操
- 5 教学刷新評議会

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

学校経営論

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 次の英文は、国連 Convention on the Rights of the Child（以下、CRC と略記）、第 28 条を抜粋したものである。これを読んで、以下の 1～6 に解答しなさい。

（出典： <https://www.unicef.org/child-rights-convention/convention-text>）

(出典 : <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jido/zenbun.html>)

- 1 CRC が国連総会で採択された年と日本が批准した年の組合せとして適切なものを次のア～オから一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 採択 1969 年－批准 1970 年	イ 採択 1969 年－批准 1974 年
ウ 採択 1989 年－批准 1990 年	エ 採択 1989 年－批准 1994 年
オ 採択 2009 年－批准 2010 年	

- 2 CRC が規定する子どもの諸権利の具体的内容、及び CRC の歴史的、社会的、国際的背景等について知るところを述べなさい。
- 3 第 1 項の空欄①に入る最も適切な語を次のカ～コから一つ選び、その記号を答えなさい。
- カ by キ of ク in ケ to コ as
- 4 第 1 項(a)において、下線部② compulsory と述べられている点について、日本国憲法及び国際人権規約等を踏まえて論評しなさい。
- 5 第 1 項(c)において、下線部③ on the basis of capacity と述べられているが、CRC の他の条項（第 2 条「差別の禁止」、第 3 条「子どもの最善の利益」等）との関係からみて、どのように解釈できるか、論じなさい。
- 6 第 2 項の下線部④ school discipline に関して、適切ではないと判断されるものにはどのようなものが考えられるか。また、その解決に向けてどういった取り組みがなされているか、述べなさい。

問題2 義務標準法（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律）の目的と主たる内容について、近年の同法改正の動きも交えて説明しなさい。また、この法律にかかる主要な論点を一つとりあげて、それについて自分の考えを述べなさい。

問題3 学校経営論に関する以下の4つの用語のうち、2つを選んでその意味を説明しなさい。またその用語に関わる課題あるいは論点について、具体例を交えて論じなさい（選択した番号を明記すること）。

1. 学びの多様化学校（不登校特例校）
2. 中間からのリーダーシップ
3. 義務教育学校
4. 私事の組織化としての公教育

令和8（2026）年度 大学院教育学院修士課程 入学試験問題

青年期教育論

（250点満点）

問題1 別紙にある課題文1を読み、以下の問に答えなさい。

問1 著者が下線部2のように述べるのはなぜか。あなた自分の言葉で説明しなさい。

問2 下線部1のような教育計画を可能とする条件は何か。現代における教育計画の実例に即して論じなさい。

問題2 別紙にある課題文2は、宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』（岩波書店、2010年）の冒頭部分を抜粋したものです。これを参考にしながら、現代社会とデモクラシーについてあなたの見解を論じなさい。

問題3 次の4つの用語のうち、2つを選んで説明しなさい。解答用紙に、選択した問題番号を明記すること。

1. 図書館の自由
2. 「社会教育の終焉」
3. 子育ての社会化
4. 識字

課題文 1

出典：大田堯「地域の教育計画」（初出、『岩波講座・教育』第4巻、1952年。『地域の中で教育を問う』1989年所収、109-134頁）。下線1、下線2は引用者。

出典：宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』岩波書店、2010年、i-iv頁

令和 8（2026）年度 大学院教育学院修士課程 入学試験問題

高等継続教育

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 別紙にある課題文 1 を読み、以下の問に答えなさい。

問 1 著者が下線部 2 のように述べるのはなぜか。あなた自分の言葉で説明しなさい。

問 2 下線部 1 のような教育計画を可能とする条件は何か。現代における教育計画の実例に即して論じなさい。

問題 2 別紙にある課題文 2 を読み、以下の問いに答えなさい。

問 1 下線部が必要とされる理由を答えなさい。

問 2 2025 年 6 月 11 日、新しい日本学術会議法が成立した。その要点をまとめ、今後、学術と教育にどのような影響が及ぶと考えられるか述べなさい。

問題 3 次の語句のなかから二つを選んで解説しなさい。選択した問題番号を明記すること。

1. 夜間大学
2. 文理融合
3. 大学のガバナンス改革
4. 高等教育へのユニバーサル・アクセス

課題文 1

出典：大田堯「地域の教育計画」（初出、『岩波講座・教育』第4巻、1952年。『地域
の中で教育を問う』1989年所収、109-134頁）。下線1、下線2は引用者。

課題文 2

令和8（2026）年度 大学院教育学院修士課程 入学試験問題

社会教育学

（250点満点）

問題1 別紙にある課題文1を読み、以下の間に答えなさい。

問1 著者が下線部2のように述べるのはなぜか。あなた自分の言葉で説明しなさい。

問2 下線部1のような教育計画を可能とする条件は何か。現代における教育計画の実例に即して論じなさい。

問題2 別紙にある課題文2は、宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』（岩波書店、2010年）の冒頭部分を抜粋したものです。これを参考にしながら、現代社会とデモクラシーについてあなたの見解を論じなさい。

問題3 次の4つの用語のうち、2つを選んで説明しなさい。解答用紙に、選択した問題番号を明記すること。

1. 図書館の自由
2. 「社会教育の終焉」
3. 子育ての社会化
4. 識字

課題文 1

出典：大田堯「地域の教育計画」（初出、『岩波講座・教育』第4巻、1952年。『地域の中で教育を問う』1989年所収、109-134頁）。下線1、下線2は引用者。

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

産業教育

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 現代社会における貧困と教育の関連について述べよ。

問題 2 戦後日本の労働争議の特徴について具体的な事例を交えて説明し、その解決がその後の労使関係に与えた影響について述べよ。

問題 3 次の事項の中から 3 つを選んで説明しなさい。選択した番号を解答用紙に明記すること。

1. 「少年職業紹介ニ関スル件」

2. 産業革命

3. 国民所得倍増計画

4. 内部労働市場

5. 専門学校（戦後日本）

令和8（2026）年度大学院教育学院修士課程第入学試験問題

職業能力形成論

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 現代社会における貧困と教育の関連について述べよ。

問題2 仕事も家庭も大切にできる社会の実現という観点から、現代日本企業の雇用管理上の問題を論じ、求められる改善策を述べなさい。

問題3 次の事項のなかから3つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

- ① ガラスの天井
- ② テイラーの科学的管理法
- ③ 目標管理制度
- ④ L字カーブ
- ⑤ 労働三権

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育社会学

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 現代社会における貧困と教育の関連について述べよ。

問題 2 教育機会の格差・不平等に関する理論を 1 つ取り上げ、その概要・意義・問題点を論述しなさい。

問題 3 次の語句の中から、2 つを選び説明しなさい（選択した番号を解答用紙に明記すること）。

① エスノメソドロジー

② ポジショナリティ

③ ライフストーリー

④ 解釈学的アプローチ

令和8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

学習神経心理学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 心理学研究において脳機能計測を行うことの意義は何か、また、その解釈において注意しなければならないことは何かについて説明しなさい。

問題2 英語圏の縦断研究において、読みの習得に関わる能力が指摘されている能力を3つまたは4つ挙げ、それぞれについて説明しなさい。なお、「読み」について言及する場合は、文字、単語、文章のいずれの読みであるのかを明らかにして述べること。

問題3 単語認知における二重経路モデルとコネクショニストモデルについて、それぞれを図示した上で概説しなさい。また、それぞれのモデルにはどのような利点があるか、あるいは、どのような場合に用いられることが多いか、を述べなさい。

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

発達心理学

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 教育現場や保育現場で心理学的研究を行う際の研究の信頼性と妥当性について、具体的な研究例を挙げて論じなさい。なお、研究例は先行研究でも良いし、自身で考案した架空の研究でも良い。

問題 2 次の 6 つの用語から 3 つ選び、それぞれの意味を簡潔に説明しなさい。選択した語の番号を明記すること。

1. アイデンティティ達成 (Identity Achievement)
2. ネガティブ反すう (Negative Rumination)
3. 第一反抗期 (First Period of Rebelliousness)
4. 内言 (Inner Speech)
5. 価値介入 (Value Intervention)
6. 内発的動機づけ (Intrinsic Motivation)

問題 3 心理的問題における「回復」とは何か、何をもって回復と考えるのか、またそのために必要な支援とは何か、複数の視点から論じなさい。

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

乳幼児発達論

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 教育現場や保育現場で心理学的研究を行う際の研究の信頼性と妥当性について、具体的な研究例を挙げて論じなさい。なお、研究例は先行研究でも良いし、自身で考案した架空の研究でも良い。

問題 2 次の 6 つの用語から 3 つ選び、それぞれの意味を簡潔に説明しなさい。選択した語の番号を明記すること。

1. アイデンティティ達成 (Identity Achievement)
2. ネガティブ反すう (Negative Rumination)
3. 第一反抗期 (First Period of Rebelliousness)
4. 内言 (Inner Speech)
5. 価値介入 (Value Intervention)
6. 内発的動機づけ (Intrinsic Motivation)

問題 3 保育所の 1 歳児クラス（当該年度中に満 2 歳を迎える子ども）で、保育者が子ども同士の「かみつき」や「ひっかき」に悩むことがある。このような問題はなぜ生じるのだろうか。2 つ以上の側面からその背景を考察せよ。ただし、子どもの発達の視点は必ず含むこと。

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

認知・動機づけ論

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 教育現場や保育現場で心理学的研究を行う際の研究の信頼性と妥当性について、具体的な研究例を挙げて論じなさい。なお、研究例は先行研究でも良いし、自身で考案した架空の研究でも良い。

問題 2 次の 6 つの用語から 3 つ選び、それぞれの意味を簡潔に説明しなさい。選択した語の番号を明記すること。

1. アイデンティティ達成 (Identity Achievement)
2. ネガティブ反すう (Negative Rumination)
3. 第一反抗期 (First Period of Rebelliousness)
4. 内言 (Inner Speech)
5. 価値介入 (Value Intervention)
6. 内発的動機づけ (Intrinsic Motivation)

問題 3 親と教師に子ども評定（例えば、子どもの動機づけや心理適応について）をさせると、両者の回答には乖離があり、親－教師間の相関係数は程度の差こそあれ 0 に近いことがしばしば報告されている。こうした評定者間の不一致の原因について考えを述べよ。また、子どもを理解するうえで不一致そのものについてあなたはどのように捉えるのか、自身の考えをいくつかの観点（例えば、教育心理学的視点や心理アセスメントの視点など）から論じなさい。

令和8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

福祉臨床心理学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1

次の5つの用語のうち、2つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと

1. 家族システム論
2. 体験過程療法
3. 複雑性PTSD
4. ハームリダクション
5. エンパワメント

問題2

1. 児童養護施設などにおいて、児童虐待や児童期逆境体験を経験した子どもに対して支援を行う際、子どもが面接に来ないことや、来たとしても継続しないこと、すなわち、心理療法“以前”のことが問題になることがある。なぜ、そうしたことが起きるのかについて、子どもの側の要因、心理支援者側の要因、あるいは環境的な要因という観点から理由を簡潔に示しなさい。
2. (1)を踏まえ、それに対して心理支援者であるあなたはどのように対応するかについて、なぜそうするかという理由も含めて述べなさい。

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

運動生理学

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 現代社会における健康問題を一つ取り上げ、あなたの研究関心に基づいて論述しなさい。

問題 2 有酸素性運動と無酸素性運動の相違について、①エネルギー供給機構、②筋疲労、③能力評価方法の三つの観点から整理し、両者を比較して詳しく論じなさい。

問題 3 次の語句の中から三つを選んで詳しく説明しなさい。選択した番号を明記すること。

1. サイズの原理
2. 筋電図
3. 無酸素性作業閾値
4. メッツ (METs)
5. 中枢性疲労

令和8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

身体教育学

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 敗戦後の日本における体育行政について概説し、保健体育審議会が果たした役割についてあなたの考えを述べなさい。

問題2 体育実践「8秒間走」の教材的特徴について、あなたの考えを述べなさい。

問題3 次の1)～4)の語句・事項の中から2つ選び簡潔に説明しなさい。
なお、選択した番号を解答用紙に明記すること。

- 1) スポーツ基本法
- 2) 社会教育法
- 3) 国民体育大会（国民スポーツ大会）
- 4) スポーツバッジテスト（日本体育協会）

以上

令和 8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

体育社会学

（250 点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 現代社会における「共生」をめぐる課題に対して、教育が果たすべき役割および教育に内在する課題について、教育学の著作（本）を一つ挙げて論じなさい。

問題 2 「障害」に関わる現象を考察するうえで、身体という観点がなぜ重要であるのかを自身の研究関心・テーマに即して論述しなさい。

問題 3 以下の用語・事項から 2 つ選び説明しなさい。選択した用語・事項の番号を明記すること。

1. 障害の個人モデルと社会モデル
2. インテグレーションとインクルージョン
3. パターナリズム
4. 当事者研究

令和8（2026）年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

多元文化教育論

（250点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 添付の資料①は、大学院博士課程の学生に生活費を支給する制度「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」について、留学生を対象から除外する制度変更が行われることを報じたニュース記事である。また、資料②は、同制度を運営する国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、制度変更についてのコメントである。これらを読み、以下の問題に答えなさい。

(1) 制度変更に至った背景として考えられることを、日本および海外における移民や外国人にかかわる議論や政治的動向を踏まえて論じなさい。

(2) 制度変更が今後もたらす可能性のある影響について、あなたの考えを述べなさい。

問題2 オーストラリアでは、2024年12月に16歳未満のSNS利用を禁止する法律が成立し、2025年12月に施行される予定である。このような規制の妥当性や教育・学習および子どもの発達への影響の観点から、この法律について、あなたの考えを述べなさい。

問題3 次の6つの用語から3つを選び、それぞれについて説明しなさい。選択した問題番号を明記すること。

- (1) 社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）
- (2) インターセクショナリティ（交差性）
- (3) カルチャー・ショック
- (4) 半構造化インタビュー
- (5) マイクロアグレッション
- (6) BICS と CALP

資料①

出典：朝日新聞デジタル 2025 年 6 月 26 日配信記事

https://digital.asahi.com/articles/AST6V355HT6VUTFL007M.html?iref=pc_ss_date_article

